

令和7年度

(第16期)

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

事業報告書

公益財団法人

佐藤国際文化育英財団

公益目的事業1

全国の美術系大学において美術（絵画）を専攻する国内の学生及び留学生に対しての 奨学金の支給並びに若手作家に対する支援事業

1. 奨学金の支給事業

第35期奨学生について説明及び募集した関係大学より10名を決定し奨学金を支給した。

愛知県立芸術大学、金沢美術工芸大学、女子美術大学、多摩美術大学、東京藝術大学、東京造形大学、日本大学芸術学部、広島市立大学、武蔵野美術大学
以上9大学36万円×10名計360万円

第34期奨学生についても2年目の奨学金を継続して支給した。

金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学、女子美術大学、東京藝術大学、東北芸術工科大学、武蔵野美術大学 以上6大学36万円×8名計288万円

* 神山彩乃（多摩美術大学）、符琳（東京藝術大学）は大学院を修了したため奨学金を打ち切った。

2. 研究成果発表

第34回奨学生美術展

出品作家：森花（金沢美術工芸大学院、日本画）、碓葉奈（京都芸術大学院、日本画）、南部夢人（京都市立芸術大学院、版画）、李丹（女子美術大学院、日本画）、神山彩乃（多摩美術大学院、日本画）、堀田紅音（東京芸術大学院、日本画）、符琳（東京芸術大学院、文化財保存、日本画）、高見梨花子（東京芸術大学院、版画）、萩中茉優（東北芸術工科大学院、版画）高橋美紗貴（武蔵野美術大学院、油画）以上10名

招待作家：坂根輝美（第14期奨学生、愛知県立芸術大学院、日本画修了）

久松知子（第24期奨学生、東北芸術工科大学院、日本画修了）以上2名

特別出品：津絵太陽（第33期奨学生、東京芸術大学院、油画修了）

* 前回の奨学生美術展において買上げた優秀作品を参考出品した。

主催：公益財団法人佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館

共催：新宿区

協賛：アワガミファクトリー、株式会社吉祥、株式会社呉竹、ナカガワ胡粉絵具株式会社、株式会社中里、株式会社名村大成堂、PIGMENT TOKYO、株式会社墨運堂、松田油絵具株式会社、ウィンザー&ニュートン 以上10社

後援：新宿フィールドミュージアム

会期：2025年9月9日（火）～10月19日（日）

イベント：アーティストトーク9月21日（日）

出品点数：24点

開館日数：36日間

入館者数：1482名

3. 相談・助言事業

奨学生及び若い作家が社会に出て行くにあたって必要とされる様々な相談や助言を継続的に行った。

公益目的事業 2
佐藤美術館の運営等、美術の普及に関する事業

1. 展覧会

(1) 収蔵品展 ～今日の版画・明日の版画～佐藤美術館コレクション plus

収蔵作家：王^{おうしん}鑫、河内成幸、金兌赫、集治千晶、林孝彦、舟越桂、ボルジギントブチチゲ、水口かよこ、柳澤紀子、山本絵理子、鷺野佐知子、綿引明浩

ゲスト作家：井関洋（10期奨学生）、鷺野佐知子（16期奨学生）、荻島香織（17期奨学生）、磯崎海友（32期奨学生）、大矢雅章（多摩美術大学准教授）

以上 17名

主催：公益財団法人佐藤国際文化育英財団

共催：新宿区

協力：阿部出版株式会社

会期：2025年5月13日（火）～6月29日（日）

イベント1：アーティストトーク 5月18日（日）

井関洋、鷺野佐知子、荻島香織、磯崎海友

イベント2：大矢雅章のアーティストトーク・技法紹介

出品点数：50点

開館日数：42日間

入館者数：1630名

(2) 企画展 Endless Flow—終わりなき流れ—野地美樹子日本画展

出品作家：野地美樹子

主催：公益財団法人佐藤国際文化育英財団、日本経済新聞社

共催：新宿区

協力：郷さくら美術館、平野美術館

会期：2025年11月1日（土）～12月14日（日）

イベント：アーティストトーク 11月3日（月・祝）、11月22日（土）
12月6日（土）

出品点数：21点

開館日数：38日間

入館者数：4177名

(3) 企画展 塩谷亮 刻を描くリアリズム

出品画家：塩谷亮

主催：公益財団法人佐藤国際文化育英財団

共催：新宿区

助成：公益財団法人野村財団

協賛：栗城林業

特別協力：ホキ美術館

企画協力：以心伝心、芸術新聞社、FIDO

協力：AARON CULTURE、S_R gallery、GALLERY KOGURE、春風洞画廊、大丸松坂屋美術、花田美術、三越美術

会期：2026年1月8日（火）～2月15日（日）

イベント1：ライブペインティング 1月11日（日）、18日（日）、25日（日）
2月1日（日）、8日（日）

イベント：アーティストトーク 1月17日（日）、2月11日（水・祝）

出品点数：51点

開館日数：34日間

入館者数：8959名

花博巡回展

花と緑に魅せられて-佐藤美術館コレクションより-

主催：奈良県立万葉文化館

協力：公益財団法人佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館

企画協力：株式会社アートワン

会期：2025年3月15日（土）～5月6日（火・祝）

イベント1：オープニングギャラリートーク 3月15日（土）立島恵

イベント2：学芸員によるギャラリートーク 3月16日（日）、3月26日（水）
4月23日（水）

出品点数：50点

開館日数：46日間

入館者数：2542名

2. 展示室の貸与

(1) 迷うくじら 名古屋芸術大学日本画コース選抜展

出品者：長谷川菜々子、黒太雪乃、川末愛美、田中千寛（1年生）

上田優芽、美佐ピーセイ、飯田裕葵、倉本和佳（2年生）

天野彩音、岡田玲奈、片山愛唯、中島万結、中村汐里、廣瀬芽衣、藤田大翔（3年生）

秋元真愛、石井晴菜、犬塚菜々美、牛場巧也、太田敦崇、小野田虎之助、片山泉、木田康仁、熊崎敦士、中島梨瑠、野村桃代、坂野寿、村瀬光咲、和久田尚希（4年生）

伊藤歩生、大竹しおり、小川友季、田口果歩、棚次寛（修士1年生）

佐藤正子（修士2年生）

安藤裕実、大見真里佳（助手）以上 37名

イベント：ギャラリートーク 4月13日（出品者、教員、立島恵）

主催：名古屋芸術大学日本画コース

会期：2025年4月1日（火）～4月13日（日）

出品点数：37点

開館日数：12日

入館者数：416名

同時開催：Whale of Fortune 名古屋芸術大学卒業生展

会場：AARON GALLERY アーロンギャラリー 東京都新宿区納戸町 26-8

会期：2025年4月1日（火）～4月12日（土）

(2) 2025年 多摩美術大学大学院日本画研究領域二年生展「半斤八両」

出品作家：桐生直、呉文豪、黄佳璋、孔珊珊、近藤了禅、清水翔月、謝洋陽、福田菜

月、藤生百音、李齊宇、梁楚卿、渡部真衣 以上12名

主催：多摩美術大学日本画研究室

会期：2025年4月18日（金）～5月2日（金）

出品点数：42点

開館日数：13日

入館者数：454名

（3）デザインとアートの狭間から 東京藝大デザイン科出身の作家たち

出品作家：大藪雅孝、中島千波、榎俊幸、岡田博明、八木美穂子、乗富茂美、山本雅子、関俊一、武田史子、堀川理万子、片桐聖子、弘田優子、大西敦子、高岡香苗、中沢しのぶ、田宮話子、今泉尚樹、押元一敏、小林英且、酒井一、田崎冬樹、池田学、カネコミホ、高橋浩規、阿部穰兼子真一、瀧下和之、堤岳彦、濱岡朝子、深海武範、富田典子、山本陽光、渡邊史、岡部忍、金丸悠児、野地美樹子、八木明知、永井夏夕、林由未、泉東臣、井上越道、川本淑子、名古屋剛志、安岡亜蘭、布山恵子、門田奈々、井上恵子、金木正子、森田洋美、青山健一、荒木知子、加藤ゆわ、小松冴果、小宮絵莉、小柳景義、丸山素直、佐竹佳奈、金丸遥、志水堅二、玉井祥子、山田だり、唐澤絵里、平良志季、アンドウトシキ、林祥平、山田勇魚、内田亘、大久保恵、倉田明佳、高橋祐次、江上秋花、村上生太郎、リセイ、河辺依莉乃、CAIQIN、寺岡香織、いわさきありえ、大島利佳、馮聖心たち、平田望、MOKOE、たかすぎるな、後藤まどか、RISA、有理yuri、Liisa 以上87名

イベント1：7月13日（日）中島千波と出品作家によるトークイベント

イベント2：7月19日（土）出品作家によるトークイベント

イベント3：7月21日（月・祝）ドキュメンタリー映像上映会他

主催：デザインとアートの狭間から実行委員会

会期：2025年7月8日（火）～7月21日（月・祝）

出品点数：89点

開館日数：13日間

入館者数：772名

（4）第5回NIHONGA-en-

出品作家：秋山淳、有富禎子、金木正子、木下めいこ、後藤吉晃、佐々木真士、平良優季、田住真之介、立尾美寿紀、手塚葉子、中野浩樹、滑川道広、水野悠衣、矢吹沙織、山本陽光、横山芙實、若林静香、渡邊葉子 以上18名

イベント：アーティストトーク 7月29日（火）

主催：NIHONGA○-en-実行委員会

協賛：垣内額装、ガクブチのヤマモト、画材額縁ウエマツ、林田画廊、株式会社靖雅堂夏目美術店、株式会社千葉企画、株式会社茂木美術、画廊鉄樹、かわべ美術、ギャラリー恵風、ギャラリー杉野、ギャラリー西田、ギャラリー和田、Keiji、彩雲堂本舗、酒井京清堂、有限会社後素堂、ナカガワ胡粉絵具株式会社、SASAI FINE ARTS、柴田悦子画廊、靖山画廊、東邦アート、西新橋セタギャラリー、八犬堂柳井美術、絵具屋三吉・黄鶴堂、有限会社後素堂有限会社ル・クール社、株式会社中里、Gallery MARONIE、エビスヤ画材（順不同）

会期：2025年7月29日（火）～8月11日（月・祝）
出品点数：22点
開館日数：13日
入館者数：504名
同時開催：NIHONGA○-en-小品展
会場：西新橋セタギャラリー 東京都港区西新橋 1-10-1 正直屋ビル1階
会期：2025年7月28日（月）～8月3日（日）

（5）渺渺展 byou-byou-ten

出品作家：阿部さなえ、井上恵理、大矢高弓、木村真光、小堺百笑、清水航、諏訪智美、鶴巻謙郎、服部泰一、廣瀬佐紀子、ニルミニ・バンダラ、行近壯之助
以上12名
イベント：8月31日（日）アーティストトーク
主催：渺渺展実行委員会
会期：2025年8月19日（火）～8月31日（日）
出品点数：28点
開館日数：13日間
入館者数：534名

（6）大志学園卒業制作展 2026

早稲田国際ビジネスカレッジデザイン総合学科テキスタイルデザインコース
2026卒業制作展（3階）
出品者：テキスタイルデザイン基礎コース2年生8名、テキスタイルデザイン経験者コース1年生3名、デザインコース1名
イベント：3月8日（日）公開講評会（0 JUN 元、東京藝術大学教授）
武蔵野学芸専門学校2026卒業制作展（4階、5階）
出品者：専門生39名、高等生28名
イベント：3月3日（火）公開講評会（今井祐介 電通アートディレクター）
8日（日）公開講評会（0 JUN 元、東京藝術大学教授）
主催：学校法人大志学園
会期：2026年2月25日（火）～3月8日（日）
出品点数：89点
開館日数：12日間
入館者数：564名
同時開催：武蔵野学芸専門学校専門課程・高等課程卒業制作展第2会場
会場：アートコンプレックスセンター
会期：2026年2月25日（火）～3月8日（日）

（7）2025年度武蔵野美術大学大学院修士課程日本画コース修了制作展

出品作家：石禾実紅、榎本伊吹、小野三月、鏝さやか、かわかみはるか、志村寧音、シュウリエン、ショウジョ、70-NAO-、野村拓未、丸山大樹、三上今、ヨウシンイ、吉田真納タルーラ、ランプキンジェイリン祝重、リシン
以上16名

イベント：3月21日（土）西田俊英（日本美術院会員、武蔵野美術大学名誉教授

主催：武蔵野美術大学日本画研究室

会期：2026年3月17日（火）～3月29日（日）

出品点数：18点

開館日数：12日間

入館者数：508名

3. 出品協力

全国の美術館等公共施設から要請を受け、展覧会等の催しに当財の団所蔵作品の出品及び画像掲載協力を行うことで美術の普及につとめた。

Reborn いのちを織りなすアーティストたち

会場：WHAT MUSEUM 東京都品川区東品川 2-6-10

主催：WHAT MUSEUM

会期：2025年4月1日（土）～7月6日（日）

貸出作品：鈴木志音「花と貝」2022年

高橋浩規展「あの花咲く、とある山旅へ。」

会場：辰野美術館 長野県上伊那郡辰野町樋口 2407-1

主催：辰野美術館

会期：2025年7月5日（土）～9月23日（火・祝）

貸出作品：高橋浩規「こもれび模様 初夏から晩秋へ」2014年

きみはうつくしい 諏訪敦個展

会場：WHAT MUSEUM 東京都品川区東品川 2-6-10

主催：WHAT MUSEUM

会期：2025年9月11日（木）～2026年3月1日（日）

貸出作品：諏訪敦「father」1996年

4. その他の協力

「芸術体験ひろば」に協力した。

主催：新宿区

プログラム名：屏風絵づくり

会場：芸能花伝舎

期日：2025年5月5日（月・祝）

「春の文化体験プログラム」に協力した。

主催：新宿区

プログラム名：絵絹による日本画体験～若沖の技法に挑戦～

会場：芸能花伝舎

期日：2026年3月28日（土）

新宿区立新宿中学校から依頼を受け中学2年生2名の「職場体験」を受け入れた。

期間：2026年9月3日（水）～9月5日（金）

公益目的事業 3
美術作品の収集・保存事業

・奨学生美術展出品作品のなかから優れた作品を買上した。

作家名	作品名	寸法(縦×横cm)	素材・技法	制昨年
高見 梨花子	居間の見える姿見	90.0×130.0	銅版画	2025

(奨学生美術展買上げ)

・購入作品

作家名	作品名	寸法(縦×横cm)	素材・技法	制昨年
鷺野佐知子	Freshly47	60.6×91.5	木版画	2022

・以下の作品の寄贈を受けた。

作家名	作品名	寸法(縦×横cm)	素材・技法	制作年
大矢 雅章	A Priori Towane	90.0×179.5	銅版画	2015
野地 美樹子	影綴り	166.0×211.0	日本画	2006
塩谷 亮	Lineage	194.0×130.3	油画	2024

・奨学生及び若手作家の資料を整理・保存した。

収益事業 1

美術に関する受託事業

公益目的事業の財源に充てるため、美術作品に関する展示指導等を行なった。

収益事業 2

不動産賃貸事業

公益目的事業の財源に充てるため、不動産の賃貸を行なった。
アート吉祥寺ビルの賃貸事業、グリーンサイドビルの賃貸事業などを行なった。

収益事業 3

ミュージアムショップ事業

美術の普及のため、展覧会の図録・絵葉書等の販売を行なった。

以上